

■相談支援部会

<活動計画>

1. サービス提供事業所、各部会、教育や医療各関係機関等と連携し障害理解のための取り組みを行う
2. 事例検討や計画相談のスキルアップへの取り組みについて市町村と協働で継続
3. 災害や感染症拡大等、緊急時の支援体制の地域課題について検討

<令和3年10月～12月参加機関>

指定特定相談支援事業所15事業所、奄美市

星の園、チャレンジサポート奄美、ゆらい、ていだ、あゆみ、のぞみ園、わかば、相談支援センターしゃきょう、あまみ相談支援センター、ひより、奄美市社会福祉協議会、つなぐ、聖隷かがやき、和月、与論町社会福祉協議会

≪ 第4回 10月29日(金) 15:00～16:00 場所:びありンク奄美 ≫ 参加者:22名(オンライン参加2名)

議題	内容
1. 成年後見人等が必要になったとき	◎短期間(1年)内に養護者が次々と亡くなり、残った母親も要介護状態へ、急激な環境の変化があった方の課題について意見交換、以下の点について地域資源の情報共有や利用方法を確認した。 ・成年後見人等に関わる地域資源、利用促進のための中核機関について役割や利用手順 ・協議会で開催している弁護士相談について
2. 施設入所者の重度化、医療依存度が高くなった場合について	◎高齢化、重複重度化により医療依存度の高くなるケースについて、胃ろうになって退院することになった方に障害者支援施設の役割と本人家族の希望との間で、相談支援専門員はどのような支援が計画できるのか。障害者支援施設での受け入れは難しい、本人家族は最後まで慣れた施設で過ごしたいと希望がある。 ◎痰吸引が必要な状態へ変化した方の利用を断られたケース。 ⇒ 与論町の場合、地域の介護保険通所施設に障害福祉サービス(生活介護)の設置申請をしてもらえるよう地域で対応検討中。

≪ 第5回 12月17日(金)15:00～16:10 場所:びありンク奄美 ≫ 参加者19名(オンライン参加1名)

議題	内容
1. 報酬算定外の業務について	◎受診同行、入退院支援、緊急搬送時の付き添い、重度心身障害者医療費助成や生活保護申請、役所へ提出する書類等の手続き、後見人等申し立て、住居探し、金銭管理ができない方からの相談の対応。 ※バックに大きな法人や医療機関がある事業所と、小規模や一人事業所では報酬外の業務の負担感に大きな差がある。
2. 困難事例	◎在宅生活が難しいが、施設入所できなくて困っている。行き場がない、施設待機者が多い。また緊急時の短期入所もなかなかとれない。 ◎若年性認知症の方が利用できるサービス(日中活動)、資源には現在この地域でどのような支援ができるのか、利用計画を検討するが、本人の望むまたは自立支援に向けた計画案の難しさがある。
3. ミニ勉強会	◎地域生活支援事業(移動支援) 奄美市より資料および説明

≪第4回ケース発表会:事例検討 11月26日(金) 時間 15:00～16:00 場所:びありンク奄美 ≫参加15名(オンライン1名)

事例提供	課題	解決したいこと
ひより	就労支援事業所の利用について、辞めたい、やつぱり行きたい…本人の気持ち日々変化する	ひとつの事業所に安定して通所できるようになってほしい

<課題>

1. 通院、入退院、救急搬送時や書類支援、居住支援等、範囲外の業務
2. 成年後見制度が必要な人に対する迅速な支援ができる体制
3. 若年認知症や障害者の高齢化、重複重度化に対する計画(提供できる資源)

<今後の予定>

部 会	2月25日
ケース発表会	1月28日、3月25日